

緊急開催！

事前申込制

無料

リスクを低減させる 「パテントクリアランス」構築セミナー

2017年9月29日(金) 14:00~17:00

懇親会(無料) 17:00~18:00

株式会社発明通信社 本社(東京都千代田区内神田1-12-2)

今春、日本の大手自動車メーカーが、自動車に使われている部品が特許権を侵害している恐れがあるとして、米国企業に特許侵害で訴えられました。この米国企業がパテント・トロールとして有名な企業であることが分かり、対象がハイテク分野から日本の自動車産業に移ったことで、知財業界を驚かせたのは記憶に新しいのではないでしょうか。パテント・トロールに狙われるのは大企業、部品メーカーだから対策は不要、と油断されている方も多いと思います。近年、部品メーカーが納品先から、納入製品・部品が他社特許を侵害しない保証や、侵害している場合の責任を取ることを求められる、特許保証と特許補償が話題になることがあります。今回のパテント・トロール問題が、この2つの『ホショウ』を加速させるかもしれません。貴社では、充分な対策を行っていますか。

本セミナーでは「特許クリアランス」をテーマに状況を整理、問題を明らかにし、解決手段をご提案いたします。

第1部「部品ビジネスと知的財産」

田端 泰広

【講師略歴】

(株)リコーの法務本部企画室長、同本部長、リコートクノリサーチ株代表取締役を歴任。現在、金沢工大大学院客員教授、発明通信社顧問を兼任。

一口に部品メーカーといつても、開発部品か汎用部品かで契約に及ぼす力関係が異なります。本セミナーでは、事例紹介を切り口に、部品事業の類型や、供給側と購買側のビジネスと知財の考え方について解説いたします。その上で、特許保証と特許補償を検討する際の重要な要素である部品メーカーにおける知財戦略と特許調査の必要性を提示いたします。

第2部「特許クリアランスと調査 ~事例紹介~」

鷺田 公一

【講師略歴】

元大手電気メーカーの知財部勤務、現鷺田国際特許事務所 所長
弁理士。

特許クリアランスを目的とした調査について解説いたします。

対象範囲、報告事項、鑑定の有無などを打ち合わせし、調査を実施いたします。事業参入する対象国が日本以外の場合にも対応可能です。

各事例でのポイントと報告概要を複数、解説いたします。



FAX: 03-5281-5512

E-Mail: seminar_t@hatsumei.co.jp



懇親会への出欠(どちらかにチェックを付けてください)		(出席 / 欠席)	
貴社名			
部署名		TEL	
ご住所	〒		
ご芳名		E-Mail	

個人情報利用の同意内容
お客様にご記入頂きました個人情報は、お客様との契約履行のためまたはセミナー、取り扱い商品、技術情報に関するご案内、お客様へ提供した製品のサポート、メンテナンスを実施させて頂くために弊社において利用いたします。

個人情報取り扱いについて

1、お客様にご記入頂きました個人情報は、弊社によって適切に管理し、情報の紛失、破壊、改ざん、及び漏洩等が起きぬよう安全対策を講じます。

2、弊社は、お客様にご記入頂きました個人情報をお客様の同意がない限り第三者に提供いたしません。

株式会社発明通信社

TEL: 03-5281-5511

(201709_パテントクリアランス構築セミナー)

セミナータイムスケジュール

14:00～14:05	挨拶
14:05～15:35	第1部：部品ビジネスと知的財産
15:35～15:50	休憩
15:50～16:30	第2部：特許クリアランスと調査～事例紹介～
16:30～17:00	調査商品のご紹介
(17:00～18:00)	懇親会（自由参加）

第2部にてご案内する「FTO (Freedom to operate) 調査」について

自社の実施行行為が、他社の特許権等を侵害していないかどうかを検討するための文献収集、および、侵害性の鑑定を行う調査です。鑑定の度合いについては依頼の内容により調整いたします。

調査手順 1

ご指定いただいた対象国ごとに、関連特許を集めます。

観点を元にキーワードを検討、必要に応じて英語や原語へ展開し、検索を行います。

< DE > DATA BASE 特許&実用新案【検索式 & 演算結果】

	観点	NO	検索キーワー ド1	検索キーワー ド2	キーワード(独語)	検索式	検索 集合値	件数 (特許)	件数 (新案)	検索対象	
Operation/ Control for Facility Equipment, Manipulatio n/Control for Facility Equipment, Operation/ Control for Equipment, Manipulatio n/Control for Equipment	D1 remote control	29	008F13/00+006Q10/00+006Q50 +005+H02J3/00+H02J10/00+ H04L12/00+H04M11/00+H04M 11/02+H04M11/04+H04M11/0 6+H04M11/08+H04M11/10+ H04L12/00	008F13/00+006Q10/00+006Q50 +H02J3/00+H02J10/00+H04M 11/00+H04M11/02+H04M11/04+ H04M11/06+H04M11/08+H04M11 /10+H04Q9/00+H04L12/00	(IC=)(008F13/ + 006Q10/ + 006Q50/ + H02J3/ + H02J10/ + H04M11/ + H04Q9/ + H04L12/)	W0029	32,997	1,046			
		30	(ネットワーク+通信+センタ→ 送信)×(管理+監視+制御+調査+ メンテナンス)		(Netzwerk + Kommunikation + oder Zentrum + Fern) and (Management + Monitoring + Control + Adjustment + Maintenance))	W0030	6,324	319	AB+CL		
Operation/ Control for Equipment, Manipulatio n/Control for Equipment	D2 state monitoring, condition monitoring, state surveillance, condition surveillance	31	上昇 低下 停止 終了 基準 異常 傷害 故障 破損 不良 変化 裁判 安全 危険	up, raise, increase, down, reduce, lower, decrease, stop, end, termination, out of control, abnormal, barrier, drawback, trouble, breakage, breakdown, failure, breakage, breakdown, degradation, deterioration, change, alteration, variation, variance, safety, security., danger	Erhöhung oder Abnahme oder Sinken oder Rü ckgang oder Stop oder Ende oder außer Kontrolle oder abnormal oder Störung oder Defekt oder Beschädigung oder Mängel oder Ausfall oder Veraenderung oder Aenderung oder Sicherheit oder Gefahr	TXC=(up + raise + increase + down + reduce + lower + decrease + stop + end + termination + out of control + abnormal + barrier + drawback + trouble + failure + break down + break + breakage + defect + degradation + deterioration + change + alteration + variation + variance + safety + security)	W0031	266,714	32,203	AB+CL	

調査手順 2

関連特許の内容を読み込み、要注意案件の絞り込みを行います。報告書の形式や、評価についてどこまで依頼されるかによって、法律状態や内容の記載、評価や関連するポイント、判定と判断理由等の記載を行います。

判定に集約					
者	判定	要約	請求の範囲	査定種別	最終処分
太郎	C	目的)シングル・サインオンの認証を強化する。【情	【請求項1】 ウェブサーバにおいて携帯電話端末が認証されることに応じて上記ウェブサーバへ真実な	審査係,属中	
・ドラ	C	TOK信頼れる認証(シングルサインオン)技術に基づ	【請求項2】 SSO(シングル・サインオン)技術を使用してセキュアなパスワード管理を実行する	登録査定	特許／登録
一郎	B	【課題】個人情報を入力する必要とする個別サブサー	【請求項3】 ネットワークに接続可能なスマートフォンに前記ネットワークを介して前記ユーザ端末	登録査定	特許／登録
貴志	C	【課題】複数の事業者において取得された顧客情報を	【請求項4】 複数の事業者間でたがつて顧客情報を保管する顧客情報管理システムであって、	審査係,属中	
二郎	B	【課題】異なる利用サービスのユーザー認証システムを	【請求項5】 利用サービスを行なうサービスシステムと、ネットワークを介して端末から認証情報の入	審査係,属中	
三郎	C	システム間シングル・サインオンのための技術は、シ	【請求項6】 システム間で、上記の認証情報を用いて、	審査係,属中	
・下子	A	【課題】サービスへの対応	【請求項7】 通信網の、前記通信網に接続される端末に利用者が操作する利用者端末と、前記通信	登録査定	特許／登録

判定とその理由を明記

	出願人／権利者	判定	判断理由
又運行方法	△△△△株式会社	C	バス位置を追跡して駅ごとにバスの到着時刻通知する点で類似する。 しかし、ダイヤ修正装置が運行ダイヤと追跡情報を基にして駅ごとにバスの到着時刻を予測する点で、本件情報配信システムと相違する。
	△△△△株式会社	C	運行管理システムからダイヤデータを取得し、運行状況を端末に提供する点で類似する。 しかし、特定の「又毎に計画ダイヤと走行実績を表示する点で、本件情報配信システムと相違する。」
テム、路 トーパー	株式会社ナビタイムジャパン	A	どの部分で判定に至ったか分かる! 路線データと時刻表データに基づいて運行状況を表示する点で類似する。 しかし、基準時刻と路線バスが進行しているか否かを判断し、進行の有無を区別可能に表示するかつ、駅名、路線部分を段階的に表示する点で、本件情報配信システムと相違する。

判定と関連するポイント記載

対象国に外国が有る場合、英語や日本語での記載を行うこともあります。